

Topics & Information

各自治会や地域にお住まいの方々からご相談やご要望をいただき、市の担当課等と協議の上、対応させていただいた事案の一部を紹介いたします。関係地権者の方をはじめ、ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。



市道の改修（三ヶ島1丁目）



市道の舗装（糞谷）



市道の舗装（三ヶ島1丁目）



水道管の更新（糞谷）



横断歩道の再塗装（堀之内）



市道の雨水対策（糞谷）

【マイナポイントが9月にスタート！】

そもそも「マイナポイント」とは・・・

- ① マイナンバーカードを取得し、
- ② 同カードでマイナポイントを予約した人を対象に
- ③ 選択したキャッシュレス決済サービスで、
買い物に使えるポイントを国が付与する仕組みです。

キャッシュレスで2万円のチャージまたは
買い物をすると 1人あたり上限5,000円分
のマイナポイントがもらえます！

【所沢市マイナンバーコールセンター】

電話：04-2998-9481



所沢市議会 9月定例会の予定

9月1日(火)～
9月25日(金)

※正式な会期日程は、
8月25日(火)に
決定いたします。

【プロフィール】

- 1970（昭和45）年2月3日、所沢市生まれ。
- 1993年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。
- 社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー（CFP認定者）・防災士。
- 2019年4月、所沢市議会議員選挙にて当選（連続4期）。
市議会議長（第64代）、市議会副議長、市監査委員（議員選出）などを歴任。
現在、建設環境常任委員会委員、議会改革に関する特別委員会委員。
- 所沢明生病院地域評議員・日本防災士会地方議員連絡会会員。



ご意見・お問い合わせ等 090-8115-3715

【Homepage】 www.oginoyasuo.com

【E-mail】 tokorozawa@oginoyasuo.com

●編集・発行／荻野泰男事務所 〒359-1166 所沢市糞谷1746-1

所沢市議会議員【無所属】

おぎ の やす お
荻野泰男

市政レポート Vol.77

（納得できる所沢市政を！！） Aug, 2020

Ogino Yasuo Tokorozawa Shisei Report



新型コロナウイルス対策関連予算が可決

令和2年所沢市議会第2回定例会は6月5日から6月25日まで開催され、市長から提出された一般会計補正予算をはじめとする全ての議案がいずれも全会一致で可決・同意されました。

主な議案としては、**所沢市プレミアム付商品券事業、赤ちゃん応援特別一時金支給事業、学習者用コンピュータ整備事業、集団資源回収事業参加協力業者助成金交付事業、住居確保給付金支給事業等**に係る補正予算が計上されたほか、国民健康保険条例の一部改正（**傷病手当金制度の創設**）、一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正（**新型コロナウイルス感染症に対応するための防疫作業手当の支給**）、**上藤沢・林・宮寺間新設道路2工区部分の市道路線の認定**などがありました。

また、定例会最終日には、任期満了に伴い、農業委員会委員として計17名の方々が任命されました。

【主な議案（一般会計補正予算等）の概要について】

1. 所沢市プレミアム付商品券事業 （事業費総額 5億円）

●新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛要請等による影響を受け、売上が減少した市内事業者等を支援するため、**所沢商工会議所等で組織する実行委員会が地域経済と商業の活性化を図るため実施するプレミアム付商品券事業に対し、補助金を交付する**ものです。

●【商品券の概要】

- ・特典：商品券購入額より**3割分余分**に買い物等ができます。
- ・対象店舗：市内協賛店舗
- ・発行総額：16.9億円（プレミアム分3.9億円を含む）
- ・補助額の内訳
プレミアム分：3.9億円（商品券購入額13億円の30%）
事務経費：1.1億円
- ・本年秋口頃から市内在住者を対象に抽選での販売を予定。



2. 赤ちゃん応援特別一時金支給事業 (事業費総額 1154万1千円)

●国において「特別定額給付金」が支給されていますが、基準日(令和2年4月27日)の翌日以降に生まれた子どもは緊急事態宣言が延長されたにもかかわらず、特別定額給付金の支給の対象になりませんでした。

●この事業は、4月28日から5月31日までに生まれ、5月31日において所沢市に住民登録のある赤ちゃんを対象に健やかな成長を応援するため、特別一時金(赤ちゃん1人につき50,000円)を市独自に支給するものです。なお、財源の一部に国からの臨時交付金を充当しています。



3. 学習者用コンピュータ整備事業 (事業費総額 2514万3千円)

●文部科学省は「GIGAスクール構想」を策定し、1人1台の学習者用コンピュータを整備することとしており、今年度において小・中学生全学年について国庫補助の財政措置がとられています。

●この事業は、上記構想に沿って市立小・中学校全てに1人1台の学習者用コンピュータを整備するものです。

●リース期間は令和3年3月から5年間で、総事業費は国・市合わせて2億3537万8千円となります。



4. 集団資源回収事業参加協力業者助成金交付事業 (事業費総額 3158万5千円)

●現在中国の環境政策に伴う輸入規制等により古紙類の価格が急落し、資源回収事業者の経営が危機的状況にあります。

●この事業は、500を超える市民団体が実施している集団資源回収システムの崩壊を防止するため、集団資源回収事業参加協力業者に対して市況変動に応じた助成を行うものです。

●具体的には基準価格(1kg当たり5円)を設定し、市況価格が基準価格を下回った場合にその差額を助成します。



5. 住居確保給付金支給事業 (事業費総額 4334万2千円)

●この事業は、離職等により経済的に困窮し、住居を喪失するおそれのある市民に対し、家賃相当分の住居確保給付金を支給することにより、住居および就労機会の確保に向けた支援を行うことを目的としています。

●新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、支給対象者の拡大および支給要件の緩和が図られたことに伴い、離職、廃業、休業等を理由とした申請件数の増加が顕著となっているため、増額補正するものです。



荻野泰男の一般質問 (6月16日) から



中核市移行に向けた本格的議論を!

Q.

本市は昨年度から中核市移行による効果や課題の整理・分析を行っており、今年度から中核市市長会にオブザーバーとして参加することになっている。新型コロナウイルスの感染拡大により保健所機能に改めて注目が集まっているが、現時点での移行への選択肢、方向性についてどのように考えているのか?

A.

現時点では方向性を検討するための調査や分析を行っている段階であり、何らかの意思表示をしたというわけではないが、本年度より情報収集を目的に中核市市長会に参加していることから、同会のホームページにおいて、本市は「中核市候補市」に位置づけられている。



新型コロナ対策会議の議事録公開を!

Q.

所沢市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の議事録等は現在公開されていないが、市としての取り組みを広く周知するとともに、今後の対策の参考にするためにも、市ホームページ等において公表すべきではないか?



A.

対策本部会議では感染者に関する情報や検討途中の市の取り組みなど取扱いに注意すべき内容が含まれていたことから、議題のみを市ホームページで公表してきた。一方で、市で協議している内容を広く周知することは市民の皆様の安心につながるものである。今後は内容に考慮しながら会議録等の公表方法について検討していきたい。

※今回の一般質問では、その他に新型インフルエンザ等対策有識者会議の設置、国のマイナポイント事業(最終ページ参照)、羽毛製品のリサイクル等についても取り上げました。

市民医療センターにカード決済の導入を!

Q.

市民医療センターにおいては、入院や人間ドックの受診に係る自己負担額の支払が高額となる事例も少なくないことから、クレジットカード等のキャッシュレス決済を導入することはできないか?



A.

導入にかかる初期費用や運用にかかる決済手数料などの経費と病院の財政状況等を考慮し、現時点では導入に至っていない。しかしながら、ご利用される皆様の利便性の向上や未収入金の縮減、現金を扱うことによる事故の未然防止等のメリットもあることから、社会情勢や他の医療機関の状況等を踏まえ、引き続き検討していきたい。

粗大ごみに困っている高齢者への支援を!

Q.

引越しや終活等に伴う家財整理などで多量の粗大ごみが発生する事例も少なくない。自身で処分が困難な高齢者世帯等が民間の一般廃棄物処理業者による戸別収集のサービスを利用しやすくなるよう、市としてもさらに情報提供等に努めることはできないか?



A.

市民の方々が一般廃棄物収集運搬業許可業者を利用する場合は、個人と民間業者との契約となる。また、業者ごとに提供可能なサービスや費用に大きな違いがあり、行政による情報提供には限界もある。しかしながら、今後高齢者世帯を中心に多量ごみの片付け需要が拡大することも予想されることから、より分かりやすい情報提供に努めていきたい。

※右のQRコードから議会中継のサイトにアクセスされますと、荻野泰男の一般質問の動画をご覧いただけます(6/16の3人目)。

